



今年度も終わりに近づきました

新型コロナの感染症が少しずつ緩和の方向に向かうと同時に、ようやく高野山の麓周辺にも春がやってきました。あっという間の1年。どんなことができたか、どう変わったのかと1年を振り返りながら目を閉じると1番には、元気で学校が大好きな子どもたちの姿、そこに関わる担任の先生方の姿が思い浮かびます。1年前正門の桜が見事に咲いていた光景と同じようにまた、今年も素敵な花を咲かせています。きのかわ支援学校も満開の桜の花のように、日々の先生方の取組が実を結ぶことを願っています。



玄関の掃除を丁寧に頑張る姿



新型コロナウイルスのための手洗い練習



卒業間近の校長室訪問

大きく息を吸い込むと、高野峰から降りてくる新鮮な空気が胸に染みわたるそんな学び舎。
毎日「おはようございます！」と手を挙げて笑顔で交わす校門前。
正門をくぐると、そこにはきのかわの先生たちの、温かいころざしとまなざしがありました。
この学校でいろいろな人と出会い、そしてひとつひとつ努力を重ね皆さんは、大きく成長しましたね。
ひたむきに、一生懸命頑張る姿は、とてもまぶしくてそして、私は、皆さんと出会えたことに感謝をします。
たくさん笑ったことも、たくさん流した涙も、全部思い出にかえて、新たな一步を踏み出してください。
どうか、これからは自分の「夢」を持ち続け 自分らしく挑戦できるひとであってください。
～卒業メッセージより～

また、会う日まで・・・

